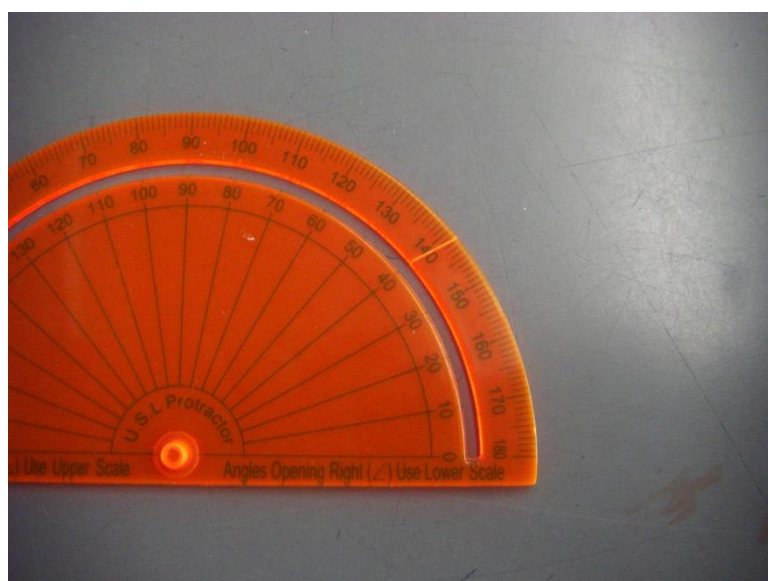


## 自分で考えて行動する「分度器を壊してしまいました」

算数の授業では学校用の分度器を利用して学習を進めています。先日、突然、校長室をたずねてきた子が分度器を両手で持ちながら神妙な面持ちで「触っていて壊してしまいました」と話にきました。担任の先生からの指示かと尋ねると、先生に伝えた



後、自分の判断で校長先生にも伝えなければと思い、来てくれたことが分かりました。

自分の小学校の時に校長室を自分から訪れて、しかも失敗したことを伝えた経験などありません。自分が校長となり、子どもたちに

寄り添うとはどういうことなのか、先生方の関わりから学ぶことも多くあります。私も「困ったことがあれば相談において。一緒に考えるよ」「自分にされて嫌なことを友だちにしてしまった時など、悩んでいるならこれからどうすればいいか一緒に考えよう。」と全校生に伝えています。子どもたちが相談に来てくれるのは、嬉しいことでもあります。

今回の件では、校長先生に伝えようと自分で判断し行動してくれたことが何より嬉しかったです。来客中でもあり「割れたところに接着剤を塗って元通りになるか試してみるわ」と伝える

と、安心した表情で教室に戻っていきました。物が壊れないのが一番なのですが、もし同じようなケースがあれば、一緒に基にもどす方法を考えるのもいいかなと思っています。